

# 理 科 学 習 指 導 案



指導教員・教科指導員 事前確認

日 時 平成 27 年 1 月 14 日(水)

第 3 校時

対 象 第 1 学年 5 組 40 名

授業者 益田 健 印

場 所 5 階 第 1 学年 5 組教室

## 1 単元（題材）名

生物基礎 探究 探究活動の進め方

## 2 単元（題材）の目標

- ・生物とヒトに関する社会問題について、疑問を持って調べてまとめる。
- ・班活動を通して、他者と協調しながら自ら積極的に作業を進め、他者にわかりやすく伝える。
- ・探究活動を通して他者の意見や考え方にふれ、自らの生活や生き方について考える。

## 3 単元（題材）の評価規準

観点 評価	ア 関心・意欲・態度	イ 科学的な考察力	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
単元の 評価規準	生物に関する社会問題について、積極的に調査できる。	社会問題の背景や、今後の展望を考察することができる。	情報を分かりやすく伝えることができる。	社会問題を多角的にとらえ、整理しながら活動を進められる。
学習活動に 即した 具体的な 評価規準	①自身の興味関心を的確に把握し、他者と協調できる。 ②主体的に資料を集め、調べられる。	①論理的に、仮説を設定し、考察できる。 ②現在の状況から、今後の展望を科学的に予測できる。	①分かりやすい表現で記入できる。 ②題材に適した資料を収集し、まとめることができる。	①必要な知識を持ち、掘り下げられた資料を作成できる。 ②定期考査や発表で、評価を受けられる。

## 4 指導における自分の考え方

### (1) この単元（題材）の扱いについて 「単元観」

本単元は、1 学年生物基礎の集大成として、探究活動を行う。1、2 学期の学習によって、生徒は基礎・基本的な生物学の知識を身につけている。そこで、個別レポートを作成する過程で、自分自身の内面を深く探ると同時に、思考力、判断力、表現力を養う。また、班活動を通して他者と協調して学び、他者の意見を聞くことによって自分自身の生き方や社会の在り方について考える。

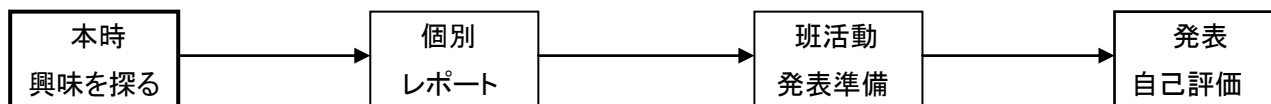
### (2) 生徒の実態について 「生徒観」

本クラスの生徒は、1 学年の他クラスと比較して活発さがある反面、幼さも合わせ持つ。クラスの生物基礎の平均点や学習意欲は、他クラスと比較して高い。そこで、授業では活発さを認め伸ばしつつ、規律を持った班活動が行えるよう指導する。指示を的確に出し、クラス全員の注意を授業に集中させながら、自由な発想が行えるように指導する。生徒に、社会に所属する一員としての自覚を促したい。

### (3) 教材の活用について 「教材観」

- ①図 書：探究活動に利用する。本校内外問わず、自身の興味関心によって生徒自らが選ぶ。
- ②プリント：探究活動の進め方やスケジュールの確認に使用する。

## 5 年間指導計画における本単元との関係



## 6 単元（題材）の指導計画と評価計画（7時間扱い）

時	主な学習活動	評価規準 評価方法
第1時 (本時)	導 入：探究活動の進め方の説明 展 開：自身の興味関心を生徒自ら探る まとめ：次回以降の見通しを示す	ア①(観察、記入、発問、提出)、 エ①(観察、記入、発問、提出)
第2時	導 入：中間報告の確認 展 開：資料集め、レポート作成 まとめ：次回以降の見通しを示す	ア①②(観察、記入)、イ①(記 入)、ウ①(観察、記入)
第3時	導 入：班活動への移行 展 開：班ごとにテーマを決める まとめ：次回以降の見通しを示す、中間報告提出	ア①②(観察、記入)、イ①(観 察、記入)ウ①②(観察、記入)、 エ①②(観察、記入、提出)
第4時 第5時 第6時	導 入：発表の確認 展 開：班ごとに資料集め、発表用資料作成 まとめ：次回以降の見通しを示す	ア①②(観察、記入)、イ①(観 察、記入)ウ②(提出)
第7時	導 入：発表の諸注意 展 開：発表を聞き、コメントを書く まとめ：探究活動のまとめ、評価について	イ①②、ウ①②、エ①②、(イ ～エいずれも観察、記入、発表)

## 7 指導の工夫

- 机間巡視を重点的に行い、課題への取り組み姿勢を観察すると同時に、進度を確認する。
- 説明を行うときに、生徒の注意をひきつけるように指導する。
- 全体の工程を明確に示し、生徒が見通しを持って学習できるように指導する。

## 8 本 時（7時間扱いの第1時間目）

### (1) ねらい

- 見通しを持って探究活動に臨めるようになる。
- 自分自身の興味関心を探る。
- 今後の探究活動を進めるための班を、主体的に決める。

## (2) 展開

時 間	具体的な学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導 入 15分	・ 探究活動の進め方について説明を聞く。	・ チャイムが鳴ると同時に授業を開始できるように、前もって教室に待機し、生徒の様子を観察しておく。 ・ 探究活動の手順やスケジュールを、集中して聞かせる。 ・ プリントに書かれてある探究活動の手順を、生徒自身でよく確認させる。 ・ 質疑応答を行う。	ア①（発問） エ①（発問）
展 開 30分	・ プリントの手順に従って、生徒が、自身でも気が付いていない興味関心を探り、深める。 ・ 興味関心が近い生徒どうしで班を組む。	・ まずは自分自身の力で、プリントの記入をさせる。 ・ プリントのマスが埋まらない生徒には、机間巡視を行いながら、声がけによって助言を行う ・ 一定時間が経過したら、生徒どうしで記入内容を見せ合いながら、相談させながらマスをすべて埋めさせる。 ・ 興味関心の近い生徒どうしを班にさせていく。生徒一人ひとりの様子を観察し、円滑に班を組めるように声がけなどを行う。 ・ 班長を決めさせる。	ア①（観察、記入） エ①（観察、記入）
まとめ 5分	・ 次回以降の予定の確認を行う。	・ 生徒の気持ちを落ち着かせ、集中させてから、次回以降の予定を確認する。 ・ プリントを提出させ、チャイムと同時に授業を終わる。	ア①（記入、提出） エ①（記入、提出）

## (3) 授業観察の視点

- 生徒が集中し、興味・関心を持って授業に取り組める指導を行えていたか。
- 生徒が活動しやすいように、指示や声がけを行うことができていたか。
- 授業で活用した教材は、内容に適していたか。